

坂井市議会 PRマガジンさかい

リニューアルしました！

特集

みんな知ってる？ 坂井市の子育てサポート

予算特別委員会

代表質問・一般質問

常任委員会報告

三国高校生と意見交換



らしさ、かがやく。

坂井市

LINE 公式アカウント

坂井市の最新情報を日々発信中！

こちらの二次元コードから
「福井県坂井市」を友達に追加 ▶



子育てするなら 坂井市で!!

坂井市で妊娠期から出産・子育て期まで受けられる多くの子育て支援制度のうち、ぜひ知ってほしい5つのポイントを健康福祉部長に聞きました。



ここも注目してほしい!!

令和8年3月完成予定
全天候型 子どもの遊び場



令和6年9月～
0～2歳児の第2子以降
保育料無料



出産前・出産後

1 出産・子育て応援給付金

出産応援ギフト

妊婦1人あたり **5万円**

はぴコインなら
52,500円分
のポイント

妊娠届出時

アンケートや面談をもとに、妊娠中の過ごし方や支援サービスなどのご紹介と合わせ、出産応援ギフトの申請をご案内します。

子育て応援ギフト

生まれた子ども

1人あたり **5万円**

はぴコインなら
52,500円分
のポイント

生後2カ月頃の赤ちゃん訪問時

産後ママの体調や赤ちゃんの様子を伺い子育ての悩み相談や子育て支援サービスの紹介と合わせ、子育て応援ギフトの申請をご案内します。



0～6歳(就学前)

2 多子世帯子育て すくすく支援商品券

就学前の第2子以降の子どもがいる家庭に

毎年

商品券を交付します。
(子ども1人あたり)

第2子 **3万円**

第3子以降 **5万円**



0～9歳(小学3年生以下)

3 すみずみ子育てサポート事業

令和6年度の対象の事業所は6カ所です。
利用料金のうち1時間あたり350円補助(第2子以降の就学前児は700円補助)されます。
「ふく育さん」利用も補助の対象です。

家庭で一時的に養育できない場合に、一時預かりや家事手伝いなど、きめ細かなサービスを提供しています。
また、第1子を出産予定の妊婦の人も家事援助のサービスを利用できます。

利用料金に対する補助額 (子ども1人あたり)

1時間あたりの利用料金のうち、下記の金額を上限に補助しています。



利用者	1施設あたりの 利用時間/月	35時間 以内	35時間～ 70時間 (上限)	対象サービス		
				生活 支援	送迎	一時 預かり
①通常児(②～④以外)		350円		○	○	○
②第2子以降の就学前児		700円		○	○	○
③多胎児第1子の就学前児		700円			○	○
④生後1カ月未満の第1子	700円	350円		○		
妊婦の人	350円			○		

0～18歳

4 子ども 医療費助成

18歳になった
年度末まで

県内の医療機関を受診する場合、原則窓口でのお支払いはありません。
市内に住民票のある子どもが対象です。

※保険外負担分は対象外。
※県外受診費用は申請が必要です。



5 5～6カ月ブックスタート



✿ ブックスタートって？

ブックスタートは、親子で一緒に本を楽しみ、温かなふれあいの時間をつくることを応援する事業です。

✿ ブックスタートでは？

図書館のスタッフが赤ちゃん一人一人に、読み聞かせをしてくれます。(所要時間5～10分程度)
赤ちゃんが初めて出会う本2冊の入ったブックスタートパックをプレゼントします。



お問合せ先

- ① 子ども福祉課 こども家庭センター ☎0776-50-3043
- ②～④ 子ども福祉課 ☎0776-50-3042
- ⑤ 坂井市立図書館
三国図書館 ☎0776-81-2900
丸岡図書館 ☎0776-67-1500
春江図書館 ☎0776-51-8810
坂井図書館 ☎0776-67-2666

坂井市では、母子健康手帳交付時に
「さかい出産・子育て応援ガイド」を
お渡ししています。

子育て支援の内容が
詳しく載っています。
ぜひご活用ください。



うら 浦 子ども福祉課長





教育民生常任委員会報告

主な質疑内容

教育委員会

Q 不登校の子どもにタブレットを活用したオンラインでの授業ができないか。

A オンラインで授業や、リアルタイムで相互にコミュニケーションをとることが可能な配信形式を提案している。しかし、学校の情報を求めないことが多く、実施していない。学校の相談室では教室の授業をオンラインで配信している。

Q 三国港エッセル堤上部のコンクリートが荒波を受け40メートルにわたり破損しているが、修繕予定はどのようにしているか。

A 県港湾事務所に修繕時期や工期について確認する。

健康福祉部

Q 産後ケア事業費を増額した理由は。

A 令和6年度から産後ケアサービスの利用料が半額になることやチケット制を導入することから、多くの利用が見込まれるためである。

三国病院

Q 訪問看護事業の現状と今後の目標は。

A 令和5年5月から開始した事業で、採算ラインでいくと月平均300人の利用者が必要であるが、現在は月100人程度の利用者で推移している。令和7年度に収益ができるよう令和6年度に活動を確立していく。

生活環境部

Q ご遺族サポート窓口「よりサポ」で終活の相談はできないか。

A 死亡後のさまざまな行政手続きを遺族に寄り添ってサポートする窓口であるため、相談があれば福祉担当部署につないでいく。

Q 公共施設改修の際に、太陽光パネルを設置するなど再生可能エネルギーの整備はできないか。

A 今後は、自家消費型の脱炭素が主流になっていくため施設の改修計画などを確認しながら関係所管課と連携して進めていきたい。

Q 能登半島地震で発生した災害廃棄物やし尿処理の受け入れ状況は。

A 県の要請を受け笹岡清掃センターで受け入れたものは、トラック25台分で1万6,670キロである。

し尿処理についてはバキューム車1台を派遣しており、処理を現地の処理施設で行っている。



▲ 笹岡清掃センターに搬入された災害ごみ



総務常任委員会報告

主な質疑内容

総務部

Q 防災力強化のために防災会議委員の拡充を図り、多様な人材を登用すべきでは。

A 防災会議委員は、定数45名以内という規約で実際29名が在籍している。内訳は半数が行政機関で残りは地域の人たちである。日赤、女性消防団員もいるが、女性委員はまだまだ少ない。専門家、福祉部門なども含め、防災会議を充実できるよう努めていきたい。

Q 能登半島地震発災時において、えちぜん鉄道車両が運行を停止したため、付近の踏切の遮断機が長時間下りたままになった。自動車運転中の被災に備え、踏切の仕組みや対処法を周知すべきでは。

A えちぜん鉄道と協議していきたい。また、避難中に渋滞などの局面に遭遇しないよう、踏切を迂回できる徒歩での避難など理解を求めている。



▲ 能登半島地震発災後に遮断機が長時間下りたままになった踏切

総合政策部

Q お試し移住の体験ツアーだが、令和5年度の実績は。また、4町それぞれの特色を生かした移住先を設定し、希望を募ってはどうか。

A 体験ツアーを8件実施し、うち3件が移住につながり効果があったと考える。

移住希望者に、まず希望を聞いた上で、コースを紹介し、決めてもらっている。令和6年度も同様に実施していく。

Q 仮想空間などを活用した移住定住の方策は。

A 現在行っているデジタル帰宅部は仮想空間を活用しており、移住につながればと思っている。また、*Vチューバーを起用した観光地や市の魅力を紹介するショート動画の配信を行い、移住定住や市の知名度向上につなげていきたい。

*Vチューバーとは、「バーチャル You Tuber」の略語で仮想空間上のキャラクターを使って動画配信する人。

財務部

Q 能登半島地震発災による特別交付税への見込みは。

A 東日本大震災のときは、震災復興特別交付税が創設され、被災自治体への財政支援が行われた。能登半島地震は激甚災害に指定されたが、令和6年度の交付税への影響については、今後の国の動向を注視していきたい。

請願・陳情

請願 第1号	イスラエル・ガザ戦争の即時停戦と、人道支援に向けた日本政府の一層の外交努力を求める意見書の提出を求める請願	趣旨 採択
-----------	---	----------

【主な意見】

○請願内容の戦争の背景については正しいかどうか判断しかねる。

○多くの死者が出ており、即時停戦・休戦し、平和的解決が必要であるというところの趣旨は理解できる。

☆発議第4号にて請願をもとに意見書を提出。

定例会審議結果

全会一致となった議案と議決結果

議案番号	件名	審議結果	議案番号	件名	審議結果
承認第1号	専決処分の承認を求めることについて（令和5年度坂井市一般会計補正予算（第8号））	承認	議案第22号	坂井市子ども・子育て会議条例の一部を改正する条例について	可決
同意第1号	教育長の任命について	同意	議案第23号	坂井市立保育園条例及び坂井市立幼稚園条例の一部を改正する条例について	〃
同意第2号	教育委員会委員の任命について	〃	議案第24号	坂井市漁港管理条例の一部を改正する条例について	〃
同意第3号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	〃	議案第25号	坂井市丸岡スポーツランド条例の一部を改正する条例について	〃
同意第4号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	〃	議案第26号	坂井市水道事業、公共下水道事業及び農業集落排水事業の設置等に関する条例及び坂井市監査委員条例の一部を改正する条例について	〃
同意第5号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	〃	議案第27号	坂井市水道事業給水条例及び坂井市布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部を改正する条例について	〃
諮問第1号	人権擁護委員候補者の推薦について	原案答申	議案第28号	坂井市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例について	〃
諮問第2号	人権擁護委員候補者の推薦について	〃	議案第29号	坂井市地域振興基金条例を廃止する条例について	〃
議案第1号	坂井市手数料条例の一部を改正する条例について	可決	議案第30号	坂井市石油貯蔵施設立地対策等基金条例を廃止する条例について	〃
議案第2号	令和5年度坂井市一般会計補正予算（第9号）	〃	議案第31号	令和5年度坂井市一般会計補正予算（第10号）	〃
議案第3号	令和5年度坂井市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	〃	請願第1号	イスラエル・ガザ戦争の即時停戦と、人道支援に向けた日本政府の一層の外交努力を求める意見書の提出を求める請願	趣旨採択
議案第4号	令和5年度坂井市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	〃	発議第1号	地域公共交通対策特別委員会廃止に関する決議について	可決
議案第5号	令和5年度坂井市水道事業会計補正予算（第1号）	〃	発議第2号	DX推進特別委員会廃止に関する決議について	〃
議案第6号	令和5年度坂井市公共下水道事業会計補正予算（第1号）	〃	発議第3号	観光戦略特別委員会廃止に関する決議について	〃
議案第9号	令和6年度坂井市後期高齢者医療特別会計予算	〃	発議第4号	イスラエル・ガザ戦争の即時停戦・休戦と人道支援を求める意見書の提出について	〃
議案第12号	令和6年度坂井市農業集落排水事業会計予算	〃			
議案第13号	令和6年度坂井市病院事業会計予算	〃			
議案第14号	指定管理施設の追加について	〃			
議案第15号	市道路線の廃止について	〃			
議案第16号	市道路線の認定について	〃			
議案第17号	坂井市地域経済牽引事業の促進区域における固定資産税の課税免除に関する条例の制定について	〃			
議案第18号	坂井市犯罪被害者等支援条例の制定について	〃			
議案第20号	坂井市一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例等の一部を改正する条例について	〃			
議案第21号	坂井市ひとり親家庭等医療費助成に関する条例の一部を改正する条例について	〃			



賛否が分かれた議案一覧

○…賛成 ×…反対 □…棄権 △…欠席 ー…原則採決に参加できない

議案番号	件名	議席	議員氏名	審議結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
			林 豊夏		○	△	○	○	△	○	○	○	○	△	○	○	○	○	△	×	○	ー	○	○	○	×
議案第7号	令和6年度坂井市一般会計予算	可決	佐藤 岳之		○	△	○	○	△	○	○	○	○	△	○	○	○	○	△	×	○	ー	○	○	○	×
議案第8号	令和6年度坂井市国民健康保険特別会計予算	可決	廣瀬 陽子		○	△	○	○	△	○	○	○	○	△	○	○	○	○	△	×	○	ー	○	○	○	×
議案第10号	令和6年度坂井市水道事業会計予算	可決	鍋嶋 邦広		○	△	○	○	△	○	○	○	○	△	○	○	○	○	△	×	○	ー	○	○	○	×
議案第11号	令和6年度坂井市公共下水道事業会計予算	可決	伊藤 恭典		○	△	○	○	△	○	○	○	○	△	○	○	○	○	△	×	○	ー	○	○	○	×
議案第19号	坂井市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例について	可決	岡部 泰樹		○	△	○	○	△	○	○	○	○	△	○	○	○	○	△	×	○	ー	○	○	○	×
陳情第1号	最低賃金の大幅な改善を求める陳情書	不採択	山田 秀和		×	△	×	×	△	×	×	×	×	△	×	×	×	×	△	○	×	ー	×	×	×	○

check!

産業建設常任委員会報告

主な質疑内容

産業政策部

Q 市の観光情報発信に関するSNSの状況は。
A （一社）DMOさかい観光局のInstagramのフォロワーは約1万4千人、フェイスブックのフォロワーは約1,200人である。フェイスブックの広告は、範囲によって金額が変わり、広範囲になるとリーチ数が伸びる。

Q 令和6年2月に実施したPayPayポイント還元事業の実績は。
A 今回のキャンペーンでは、1,198店舗の参加で、前回より28店舗増えた。今回のキャンペーンで辞退された店舗もあり、今後、利用者の利便性や満足度を高めるため、参加店舗数が増えるよう努める。

Q 坂井市アンテナショップ（品川区戸越銀座）の进店者数と売り上げは。
A 令和5年4月にリニューアルオープンし、令和6年2月末現在の进店者は約1万3千人、売上額は約2,300万円で当初目標を下回っている。今後、店舗の認知度向上と本市の情報発信の方策を考えていく。

Q 観光看板の修繕と点検は。
A 丸岡町舟寄地区にある丸岡城、東尋坊の看板は修繕と点検を行い、その他の古くなった看板は随時修繕していく。

Q キッチンカー補助の要望は。
A 令和4年度は13件、令和5年度は6件の補助を行った。現在はキッチンカー補助の要望はないが、今後、導入する事業者には経営革新支援事業補助金で対応する。

建設部

Q 雪寒道路整備事業の調査した結果を。
A 令和5年度に水源調査した箇所は、幹線の地域ネットワーク、※家屋連担、通学路などを考慮して4カ所で実施した。
水源確保ができる見込みとなったうえで、交通量調査をして総合的に判断し、事業を進めていく。
※家屋連担とは、家屋が連続して並んでいること。

請願・陳情

陳情第1号	最低賃金の大幅な改善を求める陳情書	不採択
-------	-------------------	-----

※意見陳述者を招致し説明を受け審査

【主な意見】
○国は賃上げ促進税制などの賃上げの施策を考え、対応していると思われる。
○さまざまなバランスをとりながら、段階的に最低賃金を上げていくことが大事であり、大幅に上げるのは難しい。



▲ 坂井市アンテナショップ（品川区戸越銀座）

丸岡城国宝化推進事業

問 丸岡藩誕生400周年のイベント負担金の内容は。

答 丸岡藩誕生400周年を記念して、古城まつりと併せてお城EXPOを丸岡城で開催し、丸岡城の魅力を全国にPRする。地元の人にも楽しんでもらい、郷土愛の醸成につながるよう取り組んでいきたい。

また、関連イベントとして、丸岡城桜まつりや女子プロレス対決、龍翔博物館での特別展など、年間を通じて開催を予定している。



通いの場・サロン事業

問 多様な居場所づくりが重要だが、より集まりやすい居場所づくりは。

答 高齢者にとってより身近で、歩いて通えるようにということで通いの場事業がスタートした。通いの場・サロン事業は地域住民が主体となって高齢者が気軽に集まる居場所づくり、趣味や体操などの活動を通し、地域の仲間と介護予防に取り組む体制づくりを目指している。

令和6年度からは、月1回以上定期的に開催している担い手への奨励金を新たに設ける予定をしており、今後も定期開催に取り組む地区が増えるよう、充実強化に向け取り組んでいきたい。

また、集まりやすい居場所を地域の支援者とともにつくっていけるよう事業を展開していきたい。



シティプロモーション事業

問 委託料の詳細な内容は。

答 ①ファンクラブ事業については、都内や市内で開催するイベントなどの運営、②キャラクター事業については、公式キャラクターの活動と商標登録、③ブランドハンドブックの製作については、ブランドメッセージ「らしさ、かがやく。」やロゴマークを活用した坂井市らしさの紹介記事を作成し、冊子を製作、④観光コンテンツ造成支援については、若者のウェブを活用した情報発信の手助けや、お土産の開発などの支援、⑤情報発信業務については、テレビ番組で取り上げてもらえるように働きかけるメディアキャラバン、メディアを市に呼んで紹介記事を書いてもらうメディアツアー、若い世代をターゲットとした市をPRするためのショート動画作成などの委託を考えている。



健康都市推進事業

問 令和6年度は健康都市宣言10周年の年である。継続でき、多くの市民が参加できるような取り組みは。

答 継続的な取り組みとして、さまざまな団体がウォーキングをはじめ健康づくりに取り組んでおり、市の歩こっさプラスのアプリや出前講座などを組み合わせながら、市民の健康づくりと市の施策をつなげていきたいと考えている。

また、新しい取り組みとして、市内3,000世帯を対象とし、塩分を測定してもらうことを考えている。日々食べている汁物の塩分を知ること、減塩の意識づけなどの健康な食事を考えるきっかけにしていきたい。



令和
6年度

一般会計予算 過去最高額を議決！

一般会計 総額 **448億4,500万円**（前年度比3.7%）

一般会計のほか、特別会計・企業会計については以下のとおりです。

概要や詳細はこちら▶



市の予算規模

（万円未満四捨五入）

会 計	予算額	前年度 比較増減
一般会計	448億4,500万円	3.7%
国民健康保険 特別会計	82億6,570万円	0.8%
後期高齢者医療 特別会計	13億9,860万円	7.8%
水道事業会計	30億9,110万円	28.5%

会 計	予算額	前年度 比較増減
公共下水道 事業会計	50億9,196万円	0.1%
農業集落排水 事業会計	5,221万円	2.2%
病院事業会計	27億5,880万円	5.1%
総 計	655億 337万円	4.1%

予算特別委員会

～ 2月27日・28日・29日、3月21日 開催～

本委員会では、令和5年度補正予算および令和6年度当初予算を4回にわたり審査しました。ここでは委員会中にありました質問・答弁を抜粋しています。



防災事業

問 物資の備蓄や防災組織の活性化などの拡充が必要ではないか。

答 物資の備蓄については、令和6年度から3年間かけ、保温アルミブランケットや空気電池、簡易トイレなどの整備を予定している。

防災組織の活性化については、共助のなめとして、今後も継続して防災訓練、出前講座の呼びかけをするとともに、継続した活動ができるよう地域に提案するなど、地域防災力の強化につなげていきたい。

問 今回使用した備蓄品の補充や使用期限切れの備蓄品への対応は。

答 今回使用した食料、飲料水等については、令和5年度の予算で対応できる。使用期限切れの食料はなく、期限切れの飲料水については生活用水として備蓄している。

ほかの備蓄品については今後全て点検を行い、必要に応じて入れ替え、追加などをしていく。



Q 公共施設の見直しは必要なのかな

A 公共施設の見直しは、耐震性がなく、機能を廃止したままの施設はあるのか。

Q 機能を廃止している施設は7施設ある。

A 用途転換して利用している施設は、旧法務局丸岡出張所と旧安島保育所の2施設あり、残りの5施設（旧舟寄保育所、旧三国北幼



Q 市内の移動手段は確保されているのか

A 市内の移動手段は、タクシーの台数88台に対して、ドライバーの人数は73人である。平成29年度と比べ、運転手は23%減っている。

Q 自治体ライドシェアの考えは。

A 先行事例を調査研究し、導入の可否を検討する。



Q 令和6年度の観光戦略は

A 能登半島地震による風評被害の影響と支援策は。

Q 2月末における被害額は、約2



Q 都市計画推進のための地区計画を

A 県下第2の都市の玄関口、丸岡駅周辺を中心とした地区計画を策定すべきでは。

Q 丸岡駅周辺整備構想を予定しており、必要があれば地区計画も検討したい。



Q 仮想空間メタバースを使った移住促進の考えは。

A 高校生が進めている仮想空間でのまちづくりを進めるなかで、移住政策が展開できないか検討したい。



Q 億5千万円と試算している。支援策としては、北陸応援割も始まり、市としても支援策を検討する。

Q 美食の郷越前坂井推進事業のブラッシュアップの考えは。

A DMOさかい観光局と軽井沢観光協会が連携協定を締結することになり、軽井沢での物産展や美食の郷越前坂井のPRや強化が図られる。

Q 市内の移動手段は確保されているのか

A 市内の移動手段は、タクシーの台数88台に対して、ドライバーの人数は73人である。平成29年度と比べ、運転手は23%減っている。

Q 自治体ライドシェアの考えは。

A 先行事例を調査研究し、導入の可否を検討する。



▲ 廃園した旧春江南保育所

創政会 副会長 伊藤 聖一



「こどもまんなか社会」の実現を

Q こども家庭センター設置により、どのようなサービスが拡充され、どのような効果がもたらされるのか。

A 子育て世代包括支援センターと子ども家庭総合支援拠点を集約させた機関とする。

Q 母子保健と児童福祉の一体的な相談支援体制となり、切れ目のない支援を行っていく。



創政会 政調会長 佐藤 寛治



令和5年度

一般会計3月補正予算概要

補正額 **38億4,595万円**（補正後の額 499億8,164万円）

令和5年度一般会計補正予算（第8、9、10号）を議決しました。
ここには主な事業を掲載しています。

詳細はこちら▶



観光施設維持管理事業 682万円

市民や観光客が安全で快適に利用できるよう、荒磯遊歩道の栈橋修繕工事にかかる所要額を計上。



小学校施設整備事業 8億7,387万円

国の交付決定を前倒しで受けたことに伴い、令和6年度に予定していた長寿命化改良工事（加戸小学校Ⅱ期、三国南小学校Ⅰ期）の所要額を計上。

自然災害復旧支援事業 5,467万円

令和5年12月に発生した突風により被害を受けた園芸施設について、営農の再開に向けた早期の復旧支援を行うための補助金を計上。

社会福祉総務事業 2億4,281万円

物価高騰の影響を受ける低所得者世帯などに国が給付金を支給する所要額を計上。



市政を問う！ 代表質問

令和6年3月8日 4会派

ここでは、質問項目中の特に市民の皆さまへ届けたい内容を掲載しています。
全編については後日議会ホームページに掲載される会議録や、YouTube（チャンネル名・福井県坂井市議会）でご覧ください。YouTubeは議員写真下の二次元コードから視聴できます。なお、文章は各議員が作成しています。

代表質問ってなに？

活動を共にする「会派」の代表議員が会派の理念や政策を踏まえ、市長の政治姿勢や提案された予算などについて質問することです。

【通告一覧】

議員氏名	通告内容	ページ	議員氏名	通告内容	ページ
【創政会】 伊藤 聖一 佐藤 寛治	(1) 任期折り返しを迎え、市長の施政方針を伺う	10	【政友会】 川畑 孝治	(1) 市長任期の半分を終えて	11
	(2) 危機管理対策について			(2) 災害対策の見直しが必要では	
	(3) 公共施設マネジメントのさらなる推進について			(3) 新幹線延伸開業を目前にして	
	(4) ライドシェアの推進について			(4) 福井アリーナ構想について	
	(5) 「こどもまんなか社会」の実現に向けて		【志政会】 古屋 信二	(5) 選ばれる坂井市になるために	11
	(6) 地域の文化を大切にするシビックプライドの醸成を			(1) 坂井市の市政運営について	
	(7) 日本一美味しい給食に取り組んでどうか			(2) 能登半島地震を踏まえた今後の防災力向上について	
	(8) 環境教育と脱炭素の推進について			(3) 持続可能な農林水産業の推進について	
	(9) 移住対策について			(4) 丸岡駅周辺整備構想について	
	(10) 市のシティプロモーションについて			(5) 安全安心の海釣り公園の整備について	
	(11) 市道整備について		【日本共産党】 議員団 松本 朗	(6) 坂井市と産総研による新しい地場産業の創出について	12
	(12) 都市計画について			(1) 能登半島地震を踏まえた教訓と対策	
	(13) 北陸新幹線県内開業の年、令和6年度の観光戦略について			(2) 十分な幅員のない市道の除雪責任	
	(14) 農林水産業の振興と政策について			(3) ジェンダー平等の視点から問う	

政友会

会長 川畑 孝治



市長任期の半分を終えて



Q この2年間の感想、思いは。
A 就任以来全力で取り組み、あっという間の2年間であった。

Q 今後取り組みたいことは。

A 令和6年度、後期基本計画を策定、丸岡藩400年記念事業や東尋坊・海浜自然公園・丸岡城周辺整備を行いたい。

災害対策の見直しが必要では



Q 能登半島地震を踏まえ、上下水道に対する対策は。

A 地震発生後速やかに施設の点検、被害の把握を行い、一刻も早く復旧を進め、避難所には給水車などを使い応急給水を行う。

新幹線開業を目前にして



Q 北陸新幹線開業の効果を最大限に生かすための取り組みは。

A 本市の魅力発信を強化し、興味を持ってもらうことが重要である。



▲多くの来城者が期待される丸岡城

志政会

会長 古屋 信二



坂井市の市政運営は



Q 幸福度が向上する施策の充実を踏まえ、第二次坂井市総合計画に取り入れる考えは。

A 現在、市民満足調査を行っており後に、ワークシヨップで意見をいただき、市民の幸せ実感に向けて検討していく。

能登半島地震を踏まえた今後の防災力向上は



Q 要支援者を避難させる個別避難計画で、名簿を本人同意なしに係者に提供できる条例制定は。

A 名簿情報を利用する人から、扱いや提供する範囲を協議した上で条例制定に向け検討する。

Q 防災センターの設立の考えは。
A 本庁は防災機能を備えており、新たな防災センターの建設には課題がある。

持続可能な農林水産業の推進は



Q 農村型地域運営組織の必要性は。類似活動として、坂井市農地水広域協定やまちづくり協議会があり、農村環境の保全や地域コミュニティの維持を図っていききたい。

丸岡駅周辺整備構想は



Q 整備計画のマネジメントは。具体的な計画はないが、マスタープランや立地適正計画で取り組む。



▲再整備が期待される丸岡駅周辺

日本共産党議員団

幹事長 松本 朗



能登半島地震を踏まえた教訓と対策



Q 能登では、上下水道の耐震化率が低いことが、復旧の大きな障害となっており、本市も耐震化が遅れている。

A 一般会計の財源も導入して、特別の手立てが必要では。

Q 公営企業会計の原則である独立採算に基づき、計画的に耐震化を進める。

Q 震災で電気が止まっても水を汲み上げられる防災井戸を避難所、介護施設などに計画的に設置を。

A 井戸枯れの現象も予想され、緊急給水タンクの設置、他自治体などの応援を求め、水の確保に努める。

家庭用井戸は、緊急時に有効であり、家庭用井戸水の登録制度は調査研究する。

ジェンダー平等の観点から問う



Q 市はパートナーシップ制度を発足したが、結婚応援事業の対象から同性パートナーを排除し、新たな差別を生んでいる。

A 同性パートナーが訴えた、犯罪被害者給付金不支給の訴訟では、最高裁で弁論が開かれ、国の判断が変えられようとしている。

Q 市の結婚生活支援事業では対象となっておらず、国に準じている。



▲最高裁判決の記事（令和6年3月27日付）

市政のここが知りたい

一般質問

令和6年3月11日、13日の2日間：8人

次ページからは、質問項目中の特に市民の皆さまへお届けしたい内容を掲載しています。
全編については後日議会ホームページに掲載される会議録や、YouTube（チャンネル名・福井県坂井市議会）でご覧ください。YouTubeは議員写真下の二次元コードから視聴できます。なお、文章は各議員が作成しています。

一般質問ってなに？

定例会において、議員が市の実施している事業の状況や方針などについて、市から報告や説明を求めるために質問することです。

【通告一覧】

議員氏名	通告内容	ページ
伊藤 宏実	(1) プラスチック使用製品廃棄物に係る一括回収について	13
佐藤 岳之	(1) 農業災害にも万が一の備えを	13
山田 秀樹	(1) 災害対策について (2) 飼い主のいない猫について	14
後藤 寿和	(1) 放置自転車対策に条例制定を (2) 二次交通の一つとしてシェアサイクルの導入を	14

議員氏名	通告内容	ページ
鍋嶋 邦広	(1) 令和6年能登半島地震発生時における、本市災害対策の総括と、今後の避難所としての安全性強化や自主防災に関する取組について (2) スポーツツーリズムの促進（スポーツチーム体験交流事業及びスポーツ合宿誘致事業強化）について	15
三宅小百合	(1) 災害に強いまちづくりを	15
永井 純一	(1) 防災対策について (2) 健康について (3) 認知症対策について	16
畑野麻美子	(1) 保育士確保、調理師確保、代用教員確保は子育て支援の一環、対策が求められる (2) 子育て支援は1人目からが大事である。1人目からの支援を求める	16

代表質問は、市ホームページから動画で視聴することができます。https://www.city.fukui-sakai.lg.jp/gikai/hoso/
また、二次元コードを読み取るとYouTubeにアップロードされた各議員の動画を見ることができます。

代表質問は、市ホームページから動画で視聴することができます。https://www.city.fukui-sakai.lg.jp/gikai/hoso/
また、二次元コードを読み取るとYouTubeにアップロードされた各議員の動画を見ることができます。



伊藤 宏実



プラスチックごみの一括回収について問う



Q 令和6年4月から一括回収するに至った背景と、これまでの回収方法との違いについて伺う。

A 令和4年にプラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律が施行され、市町村によるプラ製品の再商品化の促進が法令化されたことによる。

全てがプラ素材で作られた製品は全て資源ごみとして回収することとなる。

Q 県内自治体の実施状況は。

A 本市が県内で初めて取り組む。

Q 市民の理解は進んでいるのか。

A 認知度はそれほど高くはないと思われるので全戸にパンフレットを配布した。

今後は全てのプラごみを資源ごみとすることで持続可能な社会の実現につながることも周知しながら、市民の意識の醸成に努めていきたい。



▲プラスチックごみ一括回収のパンフレット

Q 令和5年12月に大関小学校の児童から「ボイ捨てごみ及びプラスチックごみを削減するための子どもとつくる環境を守る条例(案)」の提言が市長に提出されたが、この提言に対する市の対応について伺いたい。

A 提案の本身は「市内のあらゆる関係者が協働してごみを減らし環境保全を目指す」という内容だが、本市としてはすぐに取り組みめるものは実現し、並行して子どもたちの活動による提案であること踏まえたうえで、本市の環境審議会の中で条例化も含め、議論を重ねていきたい。



山田 秀樹



避難所の屋外トイレは



Q 避難初動時に水や食事は我慢できてもトイレは我慢できない。指定緊急避難場所に屋外トイレを併設すべきでは。

A 今のところ計画はないが、避難所の開設に時間がかかる場合などトイレ問題は重要な課題の一つである。

他自治体の事例なども研究しながら、地域の人たちと一緒に災害時のトイレ対策を考えていきたい。トイレを備えた避難用駐車場を整備してはどうか。

A 現在、車での避難は推奨していないが、今後調査研究していく。

飼い主のいない猫の保護は



Q 福井県は猫の殺処分ゼロを実現しており保護活動は全国トップクラスであるが、本市の取り組みは。

A 寄附市民参画事業を活用し、不



▲ 停電や上下水道が被災しても機能するトイレ

妊手術支援事業を実施しており、累計343件の補助を行っている。また、譲渡会などで里親募集の活動を行う上で、病気治療、ノミやダニの駆除などの費用の一部を補助しており、これは県内唯一である。

Q 取り組みの効果はいかがか。
A 健康診断などを行った猫は、ボランティアの活動により、県内外の新しい里親への譲渡を確認している。

また、平成29年度には市道に於て年間130匹の死亡事故があったが、令和4年度では約60匹に減少し、成果が現れている。



佐藤 岳之



農業分野にも万が一の備えを



Q 自然災害などのリスクに対する農業者の意識を高めるために、農業版BCP(事業継続計画)策定が必要と考えるが、本市の見解を伺う。

A 昨今の自然災害による農業分野への被害を最小限にとどめるには、平常時の備え、事業継続のための方法、手段を考え、あらかじめ取り組んでおくことが重要である。

しかし、農業版BCPは農業者によって、規模や環境が一律ではないという状況がある。

そのため、情報収集しながら、こういったBCPを策定できるか、研究していく必要がある。

また、台風対策に防風柵を作るなど、実地的な備えは行っている。JAや農業共済と連携して、今後も備えについて取り組んでいく。



▲農水省が公表した農業版BCPのフォーマット

Q 農業者は、経営安定を図るため、自然災害などのリスクに対して、農業保険に加入するなどの備えが重要であると考えますが、本市の見解を伺う。

A 補助事業を活用して、施設や設備、農業機械などの導入をする際には、これらに対する保険加入が必須条件となっている。

農業者が集まる機会、あるいは、広報紙、農業委員会だより、ホームページなどで農業共済や収入保険の加入について呼びかけており、今後も継続して加入を促進していく。



後藤 寿和



放置自転車対策に条例指定を



Q 市内の公共施設や路上などの状況は。

A 駅の駐輪場では、以前は警察の協力を得て所有者に対して引き取るよう連絡をしていたが、最近個人情報により特定することが困難であり、連絡ができない状況である。

Q 他自治体では条例を制定しているが、本市も公共施設や路上などを含む自転車の放置防止などの条例を制定し、放置自転車などの対策を提案する。

A 実態調査などをしながら、他自治体の条例を参考に検討していきたいと考える。

二次交通の一つとしてシェアサイクルの導入を



Q シェアサイクルを導入することで期待される効果は。



▲春江駅の駐輪場の様子

A 公共交通との接続による観光客などの二次交通利用をはじめ、環境負荷の低減や健康増進など、一定の効果があると認識している。
Q 本市の主要駅や観光地にシェアサイクルの導入を提案する。
A 本市においては観光地間では比較的距離があるところと、費用面の課題もある。
導入については、まず自転車利用のニーズがどれほどあるのか見ていく必要があると考えている。



鍋嶋 邦広



令和6年能登半島地震発生時における、本市災害対策の総括と、今後の避難所としての安全性強化や自主防災に関する取り組みは

Q 令和6年能登半島地震発生時における本市の対応について、災害対応全般の総括を伺う。

A 当日は、本市総合防災情報システムの活用により、災害対策本部は速やかに立ち上げることができたが、避難所の開設運営や、スピーディーな情報の発信については課題が残った。

今後、災害状況に応じた本部職員の増員や、避難所ごとの運営を担当する職員をあらかじめ指定するなど、体制の見直しを含め危機管理体制の強化、また市民の防災意識向上に努めていく。

Q 市内各避難所における安全対策として、窓ガラスの飛散防止フィルムは貼られているか伺う。



▲新たに作成された、坂井市防災ガイドブックと津波ハザードマップ

A 市内指定避難所は小学校など25カ所、自主避難所はコミュニティセンター27カ所のうち、窓ガラスの飛散防止対策を行っているのは、高松小学校の体育館のみである。

窓ガラスの飛散防止対策は、公共施設の日頃からの安全性向上の観点からも、非常に重要と認識しており、今後は、各施設管理者と協議しながら、緊急応急的な措置も含め、対策を検討していく。



永井 純一



災害時、命を守る行動を！

Q 市民が自分の命を守るよう、マイ・タイムラインの作成が重要であると思うが見解を伺う。

A 災害時に家族が慌てずに行動できるように家族防災会議を行ってほしい。

避難場所や避難ルートの確認、伝言ダイヤルやLINEを活用した連絡方法、非常用の持ち出し品、備蓄品の準備、家族一人ひとりの役割分担などについて話し合っしてほしいと考えている。

市民体操で健康を！



Q 市民の健康のために気軽に短時間で家庭・学校・職場で行える市民健康体操を推進してはと考えるが見解を伺う。

A 本市独自の体操として、令和5年11月に市スポーツ推進委員が考案した「しあわせの花体操」が完成した。

本市の特色を表現しており、親

認知症の早期発見で
明るい人生に



しみながら気軽に取り組めるものとなっている。
広く発信、周知して市民の健康づくりとして推進したい。

Q 認知症は早期発見と早期治療が大事だが、認知症の可能性を診断できるチェックリストの活用について見解を伺う。

A 本市のアプリ「歩こっさ+」、LINEの活用、秋にある健康フェスタ、広報紙などさまざまな広報媒体を通じてチェックリストの広報啓発に努める。



▲認知症予防教室の様子（坂井市役所3階大ホール）

※マイ・タイムラインとは、災害時にどのような行動をとるかを整理しておくために作成する個人の避難行動計画のこと。



三宅 小百合



災害に強いまちづくりを



Q 市民に分かりやすい防災情報の提供はできないか。

A 現在、防災行政メールや防災アプリ、ホームページ、LINEなど8つのツールを使って市民に情報提供をしている。

また、令和6年4月に「坂井市防災ガイドブック」を全戸配布し、研修会や出前講座などを通して周知啓発に努めていく。

Q 避難ルートの見直しをしては。

A 各種ハザードマップや防災ガイドブックを活用し、家庭や地域で避難ルートの点検や確認を実施してもらうとともに、市としても啓発や周知に努めたい。

Q 避難所の開設マニュアルを見直してはどうか。

A 誰がいつ、施設の安全性を確認して解錠するのか、周知や訓練不足だった。

避難所ごとに担当職員を割り当て、地域の人と学校関係者と一緒



▲津波警報発令により住民が避難している様子

になって防災訓練を実施しながら、速やかな避難所開設と運営ができるように努めていく。

Q ペットの同行避難の受け入れは。

A 受け入れ可能と考えるが、飼い主同士が避難所に屋外スペースを設置するなど責任をもって管理してもらいたい。

Q 冬季避難訓練や夜間避難訓練を実施してはどうか。

A より実践的な避難所の開設運営訓練につながるため、地域の人と協議をしながら実施に向けて取り組んでいく。



畑野 麻美子



保育士・調理師・代用教員
確保は子育て支援の一環、
対策が必要



Q 保育士の休憩は取れているか。

A 休憩中は、休憩室などでリラックスする時間（45分〜1時間）を持つている。

Q 保育士同士コミュニケーションが取れているか。

A 子どもの昼寝のときに、コミュニケーションが取れるようにしている。

Q 保育士が欠勤したときの対応は。

A 急な欠勤の場合は、保育課に配属されている保育士が対応する。

Q 正規保育士の採用を大幅に増やすべき。

A 私立園、公立園全体の保育士の必要数や確保数をみて、公立正職員数が適切に確保できるよう努めていく。

Q 学校給食調理師の正規採用を。国から、人件費などの適正化を図るなど、合理化を推進するよう示されている。

Q 代用教員の確保を。
人員の確保や定数の改善を県教育委員会に強く要望する。

1人目からの子育て支援策を



Q 子育てすくすく支援商品券や通学バス利用料など1人目からの支援を。

A 多子世帯の軽減を図っている。おむつ（無料）定期便で産後ケアを。

A 産後ケアの利用料を半額に、またチケット制などを導入する。



▲兵庫県明石市のおむつ定期便のチラシ（抜粋）



議会連絡掲示板

こちらから
ホームページに
とびます！

議会報告委員会を開催します

令和6年5月29、30日に、市内4会場で議会報告会を開催します。開催場所や時間などの詳細については、坂井市議会ホームページに掲載されていますので、詳細は右の二次元コードからご覧ください。



議員と意見交換しませんか？

坂井市議会では議会基本条例に基づき、さまざまな団体との意見交換会を実施しています。募集内容については、坂井市議会ホームページに掲載されていますので、詳細は右の二次元コードからご覧ください。



議会を傍聴してみませんか？ 事前予約は不要ですので、お気軽にお越しください。

★6月定例会会期日程(予定) ※ 日程は、変更になる場合がありますので、変更となった場合は、坂井市ホームページでお知らせします。

日	月	火	水	木	金	土
6/2	3	4	5	6	7 10:00～ 本会議初日 (行政報告、議案説明など)	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18 10:00～ 一般質問	19 10:00～ 一般質問	20 10:00～ 一般質問	21	22
23	24 10:00～ 産業建設常任委員会	25 10:00～ 教育民生常任委員会	26 10:00～ 総務生活環境常任委員会 ※5月1日付で名称変更	27	28	29
30	7/1	2 10:00～ 本会議最終日 (委員長報告・採決など)	3	4	5	6

一人でも多くの方に読んでいただき、議会活動に興味を持っていただくとともに、ご理解いただきますようお願いいたします。

この結果を踏まえ、より多くの市民の方に読んでいただけるよう、手取りやすい、見やすい、分かりやすい、また、市民生活に役立つ情報、若い方に興味ある内容に心掛け、今回の議会だよりをリニューアルし、特集には、若い子育て世代の方に役立つ情報を掲載いたしました。

広報編集委員会では、議会だよりについて、アンケートを実施いたしました。ご協力いただいた皆さまに感謝申し上げます。その結果については、裏表紙のとおりですが、半数以上の方が、知らない、知っていても約4割の方が読んだことがないとの結果でした。

編集後記



特別委員会活動報告

坂井市議会では、令和4年7月に3つの特別委員会が設置されました。設置目的が達成されたことを踏まえ、本定例会で解散となりましたので活動報告をします。



地域公共交通対策特別委員会

本委員会は交通弱者対応および交通網整備による地域活性化に向けて、オンデマンド型交通や観光にスポットを当てた二次交通などについて調査研究を行ってきました。

オンデマンド型交通「イータク」について、運行開始までの準備状況や、開始後の運行状況などの説明を受け、改善点などの協議を行いました。

また、交通弱者に対する支援として、コミュニティバスの路線バス化に伴う利用状況についての検証、竹田地区における新たな交通運行、春江駅の現地調査、先進地視察などを行いました。

以上の調査研究を重ね、令和6年3月には提言書を市長に提出しました。



DX推進特別委員会

本委員会ではこれまでに、テクノロジーを活用し、市民が豊かに安心して暮らすことができる社会の実現に向け、調査研究を行い、議会におけるDX化についても協議を重ねてきました。

議会におけるDX化については、災害時にスマートフォンを利用して安否確認を行うための研修を行い、令和5年の市防災訓練にあわせ安否確認訓練を実施しました。

また、市民向けサービスを検討するため、各担当部局にヒアリングを行い、提案内容を協議・検討しました。特に意見の多かった「書かない」「行かない」「待たない」窓口の実現に向けて、先進地視察を実施し、令和6年2月には意見を取りまとめた提言書を市長に提出しました。



観光戦略特別委員会

本委員会では、アフターコロナや北陸新幹線の県内開業を見据えた観光客誘致や広域観光の促進など、観光政策に関わる戦略などについて調査研究を行ってきました。

委員会では、東尋坊再整備計画や丸岡城周辺整備計画などの市の観光戦略に関わる計画について、担当部局と協議を行いました。

北陸新幹線県内開業に向け、観光型MaaSの先進地視察を実施し、DMOさかい観光局から北陸新幹線県内開業に向けた取り組みについて、説明を受けました。

その後、委員会ではこれまでのことを踏まえ、現状と課題の整理を行い、令和5年10月には今後の観光事業における企画立案などの意見を取りまとめた提言書を市長に提出しました。



三国高校生と意見交換

令和6年2月6日、県立三国高校2年生の『新・三高地域魅力化プロジェクト』発表会に参加しました。生徒は、グループごとに取り組んだ地域の問題解決をプレゼンテーション形式で発表を行い、議員と地域の人々が共にアドバイスを行いました。



地域の交通問題や、観光資源の魅力アップ、二次交通や地域のごみ問題など、三国地区の課題を若者目線のアイデアで問題提起をしていき、課題解決につながるアイデアを堂々と発表し、若者たちの意見を聞くことができました。時には、高校生からも質問があり、議員側もとても有意義な発表会になったと感じました。授業を通じて、高校生が今後のまちづくりや市政に関心を持ち、未来の坂井市を支えてくれることを期待することができました。

坂井市議会PRマガジンさかいが

リニューアル!

広報編集委員会では、令和4年より協議・検討を重ね、ついに本号でリニューアルを行いました。その経過を報告します。

START



先進地へ視察!

東京都狛江市議会と(株)会議録センターにて、議会だより作成のノウハウを学びました。



アンケート結果抜粋

- ① 坂井市議会PRマガジンさかいを知っていますか?



- ② どのような記事があれば坂井市議会PRマガジンさかいを読みたいと思いますか?

市民との対談	439件
議会のQ&A	389件
小中高生議会	564件
市民生活に役立つ情報	1,874件
小中学生にも分かりやすい議会解説	1,256件



アンケートを実施!

リニューアルをするため、読者や子育て世代にアンケート調査を実施し、**2,682件**のご回答をいただきました。たくさんのご回答ありがとうございました!



コンセプトを決定!

アンケートの結果を受け、

- ◎てにとりやすい
- ◎みやすい
- ◎わかりやすい

の3つのコンセプトを掲げ、紙面づくりに取り組みます。



特集記事を掲載!

特集記事を掲載し、読者の皆さまへ役立つ情報などをお伝えします。



広報紙作成にゴールはありません。坂井市議会PRマガジンさかいは、今後も

てにとりやすい みやすい わかりやすい にこだわり、

読者の皆さまに『より伝わる議会広報紙』を目指していきます。

